

図書室だよ！



令和7年1月8日(水)発行
潮来市立潮来第一中学校図書室

豆知識

むつき
【睦月】

お正月に家族や親戚が集まって、互いに親しみ合う「睦び合い」の宴を行うことから、「睦び（親しくする）月」が転じて「睦月」になったという説が有力です。他にも、稲の実を水に浸す月である「実月（むつき）」が転じたという説もあります。

しょうかん
《小寒》 1/5

現在の暦で1年の最初の二十四節気は小寒です。冬至から15日後のこの日から「寒の入り」となり、1年で一番寒い時期を迎えます。受験を控えている人もいるでしょう。体調管理をしっかりとして、風邪など引かないよう気を付けてくださいね。

だいかん
《大寒》 1/20

小寒から15日後が大寒。寒さが極まる頃です。武道では、この寒さを利用して心身を鍛える「寒稽古」が行われてきました。つらいことを克服すると、心も技も一段高く成長できます。皆さんも何か一つ、ちょっとだけ頑張ってみませんか？



旧年中は、図書室に足を運んでいただき、ありがとうございました♪

2025年も、皆さんが利用しやすい図書室を目指します！

「こんな図書室だといいな！」というリクエストもしてください☆
たくさん読書をしてもらえると嬉しいです(^^*)

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。



☆新年の抱負☆

私は毎年、三社詣りをして新年の抱負を神様に報告しています。皆さんは、初詣をしましたか？初詣に行って、絵馬を書く人もいますよね。そこで、1月の図書室イベントは「みんなの絵馬2025」を開催します！皆さんの目標や願い事を絵馬カードに書いて、図書室前に飾ってみませんか？他の人の目に触れることで、やる気がアップするかも！？「本の福袋」も同時開催予定☆気になる人は、図書室へGO！！

☆みんなにすすめたい一冊の本推進事業☆

今年度も、残すところ約3か月。ここまで、県教育長賞をもらったのは1人だけでしたが…冬休みを挟んで、2人目が出ました！さあ、ラストスパート！！冬休み中に読んだ本があれば、忘れずに入力をお願いします☆

県教育長賞(30冊読破)：3-2 ○○ ○○さん

現在、32冊読破中！



〔問題〕

日本で最初にノーベル賞を取ったのは誰？

ア. 川端康成 イ. 湯川秀樹 ウ. 朝永振一郎

〔前号の答え〕

ウ. 年賀状が殺到し、年末年始の郵便物の処理が大変になったから年賀状の歴史は古く、平安時代まで遡ります。明治時代になると、元日の消印を狙って年末に投函する人が増え、郵便局員が不眠不休で消印作業に当たったことから、年賀郵便の特別扱いが導入されました。

☆オススメの本☆

「みんなを嫌いマン」

(講談社／刊 献鹿狸太郎／著)

突然、日本に出現して暴れ回る地球外生命体たち。スーパーパワーでそれらを倒すのが、「みんなを守るマン（みんな守）」です。紙袋で顔を隠した彼への興味が人々の間で異常に高まり、追っかけのような熱狂的なファンや、誹謗中傷を拡散する人も現れる事態に。その一方で、みんな守の正体である大学生、上原至は熾烈な戦闘で苦しみ、犠牲者を出したことに罪悪感を覚えます。戦い続ける至の心は、少しずつ壊れていき……。

シュールで荒唐無稽な物語のようですが、ヒーローの存在意義や、インターネット社会への風刺など、いろいろな深読みもできる、現代の寓話ともいえるべき問題作です。



「楽しく学べる はにわ図鑑」(朝日新聞出版／刊 かゆみ歴史編集部／編)



はにわは、3～6世紀頃、権力者の墳墓「古墳」の周囲に並べられた焼き物です。本書は、はにわについて、カラー図版で分かりやすく学べる図鑑。「なぜはにわが作られた?」といった基礎知識から、「人物」「動物」「モノ」など、バラエティーに富んだはにわを形状別に紹介しています。有名な国宝「挂甲の武人」は、鎧が白と灰色、顔や刀は赤く塗られていたなど、興味深い情報がたくさん載っています。

混同されがちな、はにわと土偶の違いも解説。最後に、はにわに会える全国の博物館が紹介されているので、“推しはにわ”に会いに行ってみませんか。

1月の出来事

全国学校給食週間

毎年1月24日から30日までは全国学校給食週間です。太平洋戦争後、アメリカからのLARA(ララ)物資をもとに、昭和22年1月から学校給食が再開されたことにちなんだもの。当時は脱脂粉乳とみそ汁だけなど、決して十分とは言えないメニューでした。

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

なるべく好き嫌いをなく、盛り付けられたものを全部食べてもらえると嬉しいですね。

